| 学校番号 | ３０１ |
|---|---|

# 令和２年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「書Ⅱ」　（光村図書出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅱでは、創作を楽しみます。書の技能と感性を高め視野を広げる意味で、臨書も行いますが、身に付けた運筆や用筆の技能と感性で、個性を思う存分発揮してみましょう。自作の俳句やことばを、表現のねらいや意図を持って書き上げていきます。書くことで見えてくるものが増え、見ることで書けるものが深まったりします。さらに、自作のことばを書くことで、「今」の自分がみえたりわかったりするかも知れません。創作とは「自己」との出会いでもあります。容易でありませんが、楽しんでいきましょう。

## 2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への<br>関心・意欲・態度 | b:書の表現の構想と<br>工夫 | c:創造的な書表現の<br>技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、個性的な表現を工夫している。 | 自らの意図に基づいて構想し、個性的な表現を工夫し、効果的・個性的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解を深め、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わい、言葉で表現している。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>スピーチ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>スピーチ<br>コメントシート |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期・月 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期　四月(月表示については目安)　五月 | 仮名の書<br>仮名の書による創作 | 仮名の書の学習<br>古典の臨書と鑑賞<br>墨量、墨色の変化の効果を知る。<br>散らし書きの学習<br>団扇の用紙を染める<br>自作俳句を仮名の書で団扇に仕上げる | ○<br><br><br><br>○<br>○ | ○<br>○<br><br><br><br>○ | <br>○<br><br><br><br>○ | <br>○ | a:用具・用材と表現との関係に感心をもち、意欲的主体的な表現に取り組もうとしている。<br>b:仮名の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて表現を構成し工夫している。<br>c:仮名の基本的な線質と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け表している。<br>d: 仮名の成立について理解し仮名の書の美しさや良さを感じ取っている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 六月 | 漢字の書・草書の学習 | 草書の学習<br>草書古典の臨書と鑑賞<br>千字文<br>十七帖<br>自叙帖など | ○ | <br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:書体の変遷に興味を持ち連続性や流動性・律動感を理解し、草書の学習に意欲を持って取り組む。<br>b:草書の字形・基礎的な運筆・用筆を理解し表現しようとしている。<br>c: 草書の字形・基礎的な運筆・用筆の技能を身に付け表している。<br>d:草書の連続性や流動性・律動性を感じ取っている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |
| 二学期　七月　八月 | 漢字の書・篆書、隷書の学習 | 篆書・隷書の学習<br>篆書・隷書の古典の臨書と鑑賞 | ○<br> | <br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:書体の変遷に興味を持ち篆書・隷書の学習に意欲を持って取り組む。<br>b:篆書・隷書の字形・基礎的な運筆・用筆を理解し表現しようとしている。<br>c:篆書・隷書の字形・基礎的な運筆・用筆の技能を身に付け表している。<br>d:篆書・隷書の特徴を感じ取っている。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 九月 | 各自選んだ古典の臨書（書体自由） | 各自の選択による臨書と鑑賞<br><br>同じ古典、または書体を選んだ者同士による互評 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:自主的に古典を選択し、意欲を持って臨書作品に取り組む。<br>b:選んだ古典の字形、運筆・用筆などの特徴をとらえ、自らの意図をもって臨書しようとする。<br>c:選んだ古典の特徴を理解し、自らの意図を表現する技能を持って表している。<br>d:自ら選んだ「学びたい古典」の鑑賞を深める。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品<br><br>コメントシート |
| 十月<br><br>十一月 | 創作の演習から作品制作へ | 漢字の書の創作<br><br>漢字仮名交じりの書の創作<br><br>題材を考え、作品制作<br>書の要素による変化を検討して作品を仕上げていく。<br>押印の位置に配慮する。<br>創作作品をパネルに仕上げる(表具)<br>作品について発表する | ○ | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | ○ | a:個性や意図に即した用具、用材、題材を選んで創作に取り組む。<br>b: 書の要素について理解し、表現の狙いをつかんで意図をもって創作に取り組む。<br>c:漢字と仮名の調和を意図した線質を表現をする技能を持って表現している。<br>d:作品を感受性・個性豊かに鑑賞している。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品<br><br>コメントシート |
| 三学期 十二月 | 刻字作品制作 | 題材、用材を選び、刻字作品を作成<br>書、刻、彩色等<br>書の段階で押印の位置に注意し、印部分の刻、着色に配慮して仕上げる。<br><br>2学年書道選択者全員の刻字作品を鑑賞し、批評文提出 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:個性や意図に即した用具、用材、題材を選んで創作に取り組む。<br>b: 意図をもって刻字表現にふさわしい表現想定して創作に取り組む。<br>c:刻字として仕上げる感性と技能を持って表現している。<br>d:作品を感受性・個性豊かに鑑賞している。 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>ポートフォリオ<br>提出作品<br><br>コメントシート |

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。